

令和4年度 琉球大学 SDGs 社会課題解決研究プロジェクト公募要領

1.本プロジェクトの背景と目的

琉球大学（以下「本学」とする）が令和2年度に学内公募型研究事業として創設した SDGs 研究事業は、令和3年度に沖縄県との連携事業へと発展した。その成果を踏まえ、沖縄県は、県内大学の「総合知」を活用し沖縄の社会課題の解決を目指す「大学発 SDGs 社会課題解決型プロジェクト創出事業」を令和4年度から本格実施する予定である。

そこで、令和4年度は、本学が進めている SDGs 研究プロジェクトの裾野を広げるとともに、沖縄県が実施するプロジェクトへの繋がりを促すことで、本学が進める SDGs の理念を踏まえた社会課題の解決に資する研究の推進及び支援を行うことを目的とする。

2.応募対象の研究テーマ

別紙「表1. 学内公募事業の支援対象となる「沖縄の社会課題」」参照。

3 配分規模

一件当たり100万円を上限とする（3～5件程度採択予定）

4.申請資格者

本学の常勤教員とし、本学が定める研究者倫理・研究費公正執行教育を受講した者とする。

5.申請要件

- 社会課題解決を目的にした情報収集、調査、研究などを対象とし、将来的には社会課題解決に取り組む学外の協力者と協働し研究成果の普及を目指すプロジェクト等を対象とする。
- 研究成果が、別紙「本事業が支援する沖縄の社会課題」の解決にどのように関連するのかを提示すること。

6.研究期間

採択決定～令和5年3月31日まで

7.申請方法

以下の書類（各1部）を必ず各部局等でとりまとめの上、指定ファイル（PDF又はExcel）で提出すること。

※研究者個人からの直接申請は受理しません。

※別紙様式は研究推進課 HP（ニュース・トピックス欄）からダウンロード可能。

（URL: <https://gspd.skr.u-ryukyu.ac.jp/gakusaibu/kenkyu/>）

提出期限：令和4年5月13日（金）17:00（厳守）

提出書類：②は申請者ごとの提出。

①（Excel）申請一覧

②（PDF）計画書（別紙様式1）

提出先：総合企画戦略部 研究推進課 研究推進係

メールアドレス：srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp

提出方法：提出先にメールにて提出すること

8. 審査基準と選考

- 次の点に着目し、研究推進機構長が指名する者で構成する審査委員会において、別途定める評価基準に基づき、書面審査により選考するが、場合によってはプレゼンテーション審査を行うこともある。選考結果について、研究推進会議及び役員会の議を経て、学長が採否及び配分額を決定する。
 - ア. 研究テーマの適合性（研究テーマと社会課題の関連性）
 - イ. 研究目的を達成するための計画性及び手法の妥当性
 - ウ. 経費の妥当性
 - エ. 事業遂行能力（過去の研究業績等）
 - オ. 令和4年度終了時の目標とその後の計画（どのように研究成果を普及・活用するのか）

9. 採択結果の公表

採択されたプロジェクト名、研究代表者の氏名及び職名、配分額の一覧をホームページ等で公表する。

10. 研究成果における謝辞の表示

本経費により得た研究成果を発表する場合は、本経費の助成を受けたことを必ず表示すること。Acknowledgement(謝辞)の記載例は、次のとおり。

【英文】:This work was supported by University of the Ryukyus SDGs Research Project Grant (No. . . .).

【和文】:本研究は琉球大学 SDGs 社会課題解決研究プロジェクト経費(No. . . .)の助成を受けたものです。

※No.については、別途通知する。

11. 成果報告等

- プロジェクト終了後、1ヶ月以内に経費執行報告書（別紙様式2）、成果報告書（別

紙様式3)を提出すること。

- SDGs推進室によるシンポジウムにおいて、年度中又は年度終了後、研究発表を行っていただく場合がある。

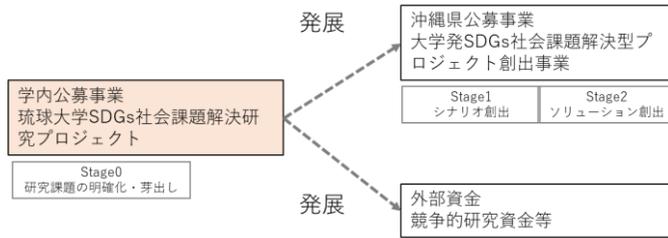
12.その他

- 研究者データベースにおいて、プロジェクトに関連するSDGsの項目を入力し、公開すること。

<申請書提出・問い合わせ先>
総合企画戦略部 研究推進課
研究推進係 仲座
内線：2081 FAX：8185
e-mail：srpu@acs.u-ryukyu.ac.jp

(別紙)

【本学公募事業と沖縄県公募事業との違い】



【研究課題】

本公募では、表1 (Stage 0) の5 課題を支援対象にしています。参考までに沖縄県の公募事業の対象課題を表2 に示しています。

表 1. (Stage0)

学内公募事業の支援対象となる「沖縄の社会課題」
1. 貧困、健康、社会的弱者などに関する課題
2. 教育、人材、平和などに関する課題
3. 社会インフラ、防災、交通などに関する課題
4. 生物多様性、脱炭素社会、持続可能な産業などに関する課題
5. 沖縄特有の社会課題について文化、芸術、歴史、言語、哲学、基礎科学などの「知」を活用し貢献が期待できる分野

表 2. (Stage1、Stage2)

沖縄県公募事業の支援対象となる「沖縄の社会課題」(案)	
1. 貧困、健康、社会的弱者などに関する課題	健康、医療、感染症、貧困、社会的弱者、こども、高齢化、健康長寿、遠隔医療など
2. 教育、人材、平和などに関する課題	教育、人材、平和、イノベーション、安全・安心、格差是正、幸せを追求できる社会、多様性、国際貢献など
3. 社会インフラ、防災、交通などに関する課題	生活基礎、社会インフラ、交通・防災・減災、離島苦など
4. 生物多様性、脱炭素社会、持続可能な産業などに関する課題	環境保全、生物多様性、脱炭素、エネルギー、持続可能な1次産業・観光・食料など
5. *その他、総合知を活用した科学技術イノベーションによる貢献が期待できる課題	上記以外の分野を広く含む